

森林環境譲与税に関する決算状況一覧

(むかわ町)

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実 績	税導入の効果
		(A) + (B)	(A)のうち令和3年度の森林環境譲与税（千円）	(B)のうち他の財源（千円）			
② 意向調査、集積計画等作成	林業振興対策事業	4,950	4,950	0	意向調査の実施、所有者不明森林の所有者探索、境界の明確化、経営管理集積計画素案作成、林地台帳の精緻化を実施。	・調査対象小班 109小班 ・調査対象所有者 37件 ・現地調査対象者 19件	【ワンフリーズ】 税活用により、 ・森林所有者に対し意向調査を行い、施行集約化困難な森林のうち38%が管理の委託を希望していることが判明した。 ・国庫補助事業の対象とならない間伐等森林整備を実施した。
⑫ その他（人材育成等）	林業振興対策事業	100	100	0	令和2年度開校の「道立北の森づくり専門学院」の学生支援のための「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」へ協賛し、教育・実習の場の提供やインターンシップの受入れといった各種支援を講じる。	道立北の森づくり専門学院への賛助金	【詳細】 本町の森林面積は57,240haで総面積の約80%を占めている。 本町の私有林では、森林経営計画を作成し、所有者自らが整備を進めている森林は7割以上を占めており、計画的な森林整備が進められている。このため、一部の森林整備が行き届いていない所有者に対しては、町や意欲と能力のある林業経営者等に森林の経営・管理を委ねるよう働きかけを行い、経営計画を作成している森林については、森林環境譲与税を活用し、森林整備を一層促進し、地球温暖化や山地災害防止等森林の持つ多面的機能の発揮に貢献する森林整備を推進することとしている。今回の調査では、37件に意向調査を実施。来年度の施行推進の可能性を広げた。また、賛助金については、北の森づくり専門学院の学生支援に寄与。木育に関しては、地元産の木材を使用した安全安心な木工製品を作製。乳児（新生児）の成長に寄り添う玩具となった。 中村記念公園は、町民に広く森林に親んでもらうレクリエーション機能のほか、森林のもつ安らぎや癒やしの効果もたらす公園。近年荒廃が進んでいる散策路を地域材を使用し階段や柵を補修、ウッドチップを敷きより親しみやすい公園となった。 私有林等整備促進事業は、国庫補助の対象とならない林地14.59haの間伐を行うことができた。
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	林業振興対策事業	550	550	0	木育の推進を図るため、はじめて木に触れるファーストウッドとして安心安全な地元産の木材を使用した木製玩具を作製し本町の乳児（新生児）に贈呈する。	地元産のイタヤカエデを使用し、木の輪100個作製	
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	公園等維持管理事務	4,895	4,895	0	本町の有する森林公園を地域材（町産材）を用いて整備し、森林公園としての景観を維持するほか、木材の利用促進と地域材の普及啓発を図る。	中村記念公園 木材使用量 9.267㎡	
③ 私有林整備	むかわ町私有林等整備促進事業	3,637	3,637	0	国庫補助事業の対象とならない間伐等の森林整備に対する補助事業を実施する（標準経費の68%補助のほか、特定施業種に加算措置）	・対象面積 搬出間伐 14.59ha ・対象小班数 搬出間伐 7小班	